

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 48 週（11 月 25 日～12 月 1 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4 人	類型	患者 3 人、 無症状病原体保有者 1 人
		血清型	O157 3 人、不明 1 人
四類感染症 つつが虫病	2 人	推定感染地域	国内 2 人
レジオネラ症	8 人	病型	肺炎型 8 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp. 1 人、 <i>Klebsiella</i> sp. 2 人、 <i>Pantoea</i> sp. 1 人
後天性免疫不全症候群	1 人	病型	A I D S
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 人		
侵襲性肺炎球菌感染症	6 人		
梅毒	10 人	病型	早期顕症Ⅰ期 7 人、 早期顕症Ⅱ期 3 人
百日咳	4 人	年齢階級	9 歳 1 人、10 歳代 3 人

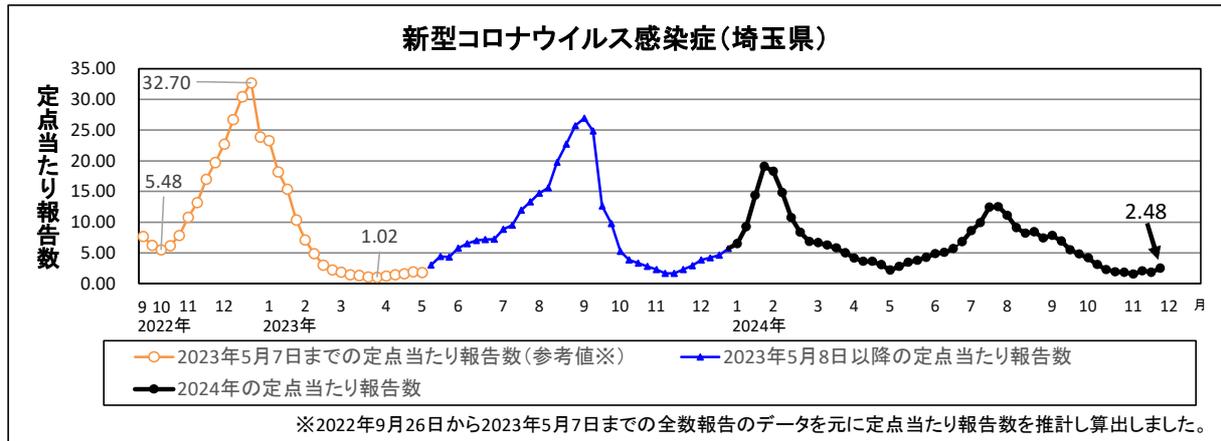
＜定点把握対象疾患の患者情報＞

新型コロナウイルス感染症（1.85→2.48：図 1）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。保健所別では、秩父（4.60）、坂戸（4.20）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 25 人（前週 22 人）であった。**伝染性紅斑**（1.85→3.49：図 2-1, 2, 3）の定点当たり報告数は、警報レベル開始基準値である 2.00 を上回り、感染症法が施行された 1999 年以降、最大の値であった。保健所別では、南部（6.40→12.00）保健所管内で大きく増加し、さいたま市（6.04）保健所管内からの報告も多い。また、年齢階級別では 3～6 歳の報告が多く、全体の約 58% であり、特に 3 歳の報告が前週より大きく増加した。**インフルエンザ**（2.29→5.52：図 3-1, 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、県内全 17 保健所管内中、16 保健所管内で前週の値を上回り、草加（2.72→8.89）、鴻巣（2.53→8.37）、川口市（2.65→7.75）保健所管内で大きく増加した。基幹定点報告疾患の一つである**マイコプラズマ肺炎**（図 4）は、49 人（前週 56 人）の報告があり、依然として多い状況が続いている。年齢階級別では、14 歳以下の患者が全体の約 76% であった。**手足口病**（4.78→4.05）の定点当たり報告数は、第 42 週以降減少傾向にある。保健所別で見ると、春日部（9.33）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 6 人、**流行性角結膜炎** 17 人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、**インフルエンザ（入院）** 12 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL：<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsct.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第48週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 2-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

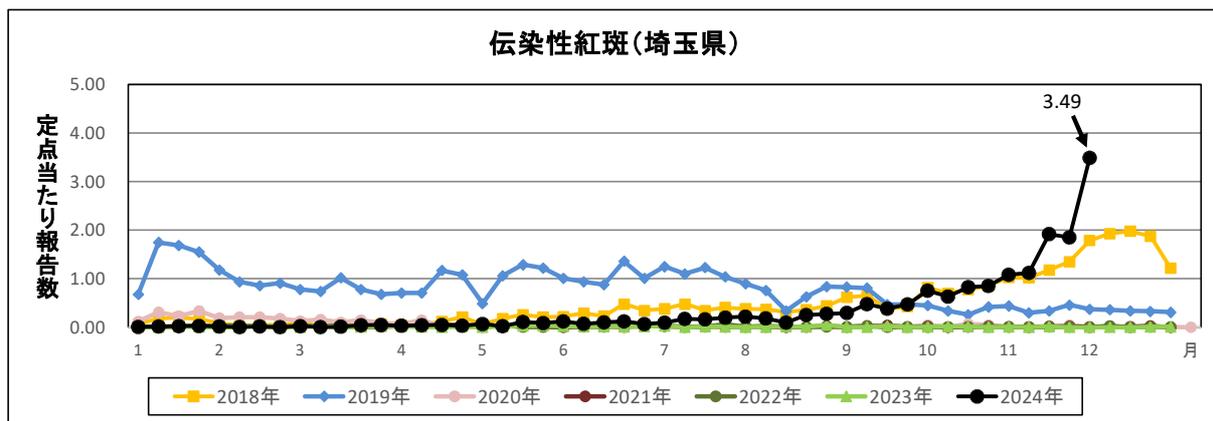


図 2-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024年第46週~第48週)

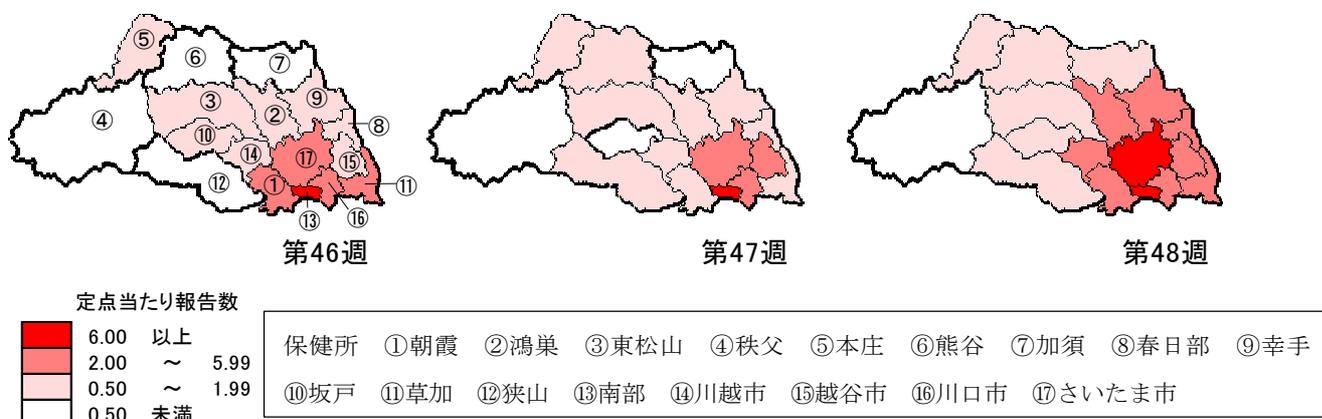


図 2-3 伝染性紅斑の年齢階級別定点当たり報告数の推移

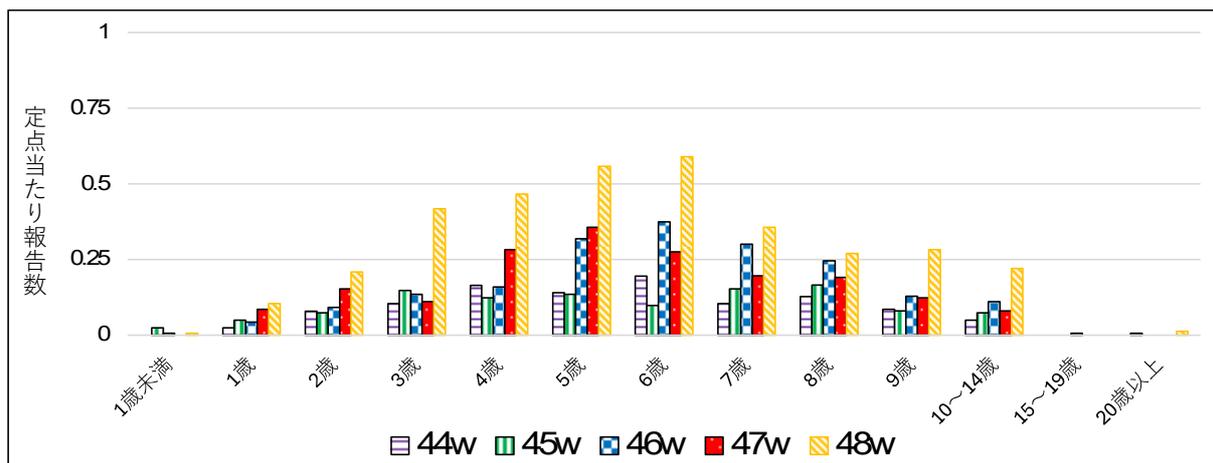


図 3-1 インフルエンザウイルスの定点当たり報告数の推移

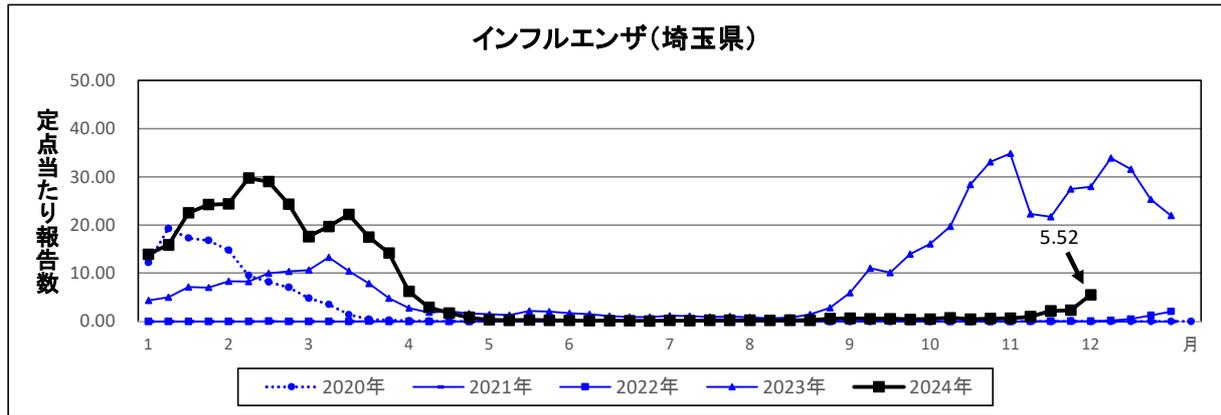


図 3-2 インフルエンザウイルスの保健所別流行状況の推移 (2024年第46週～第48週)

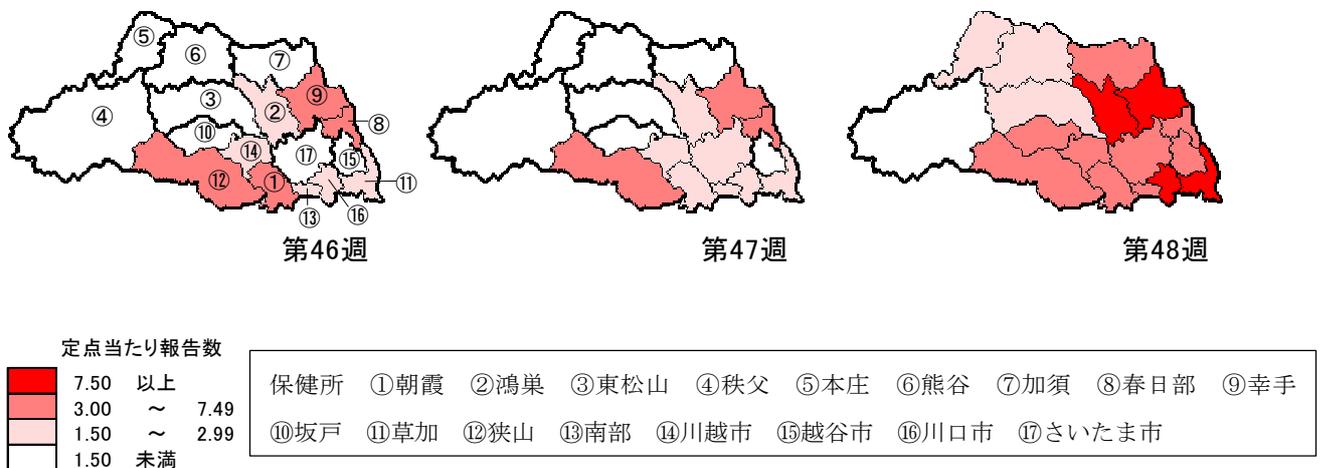
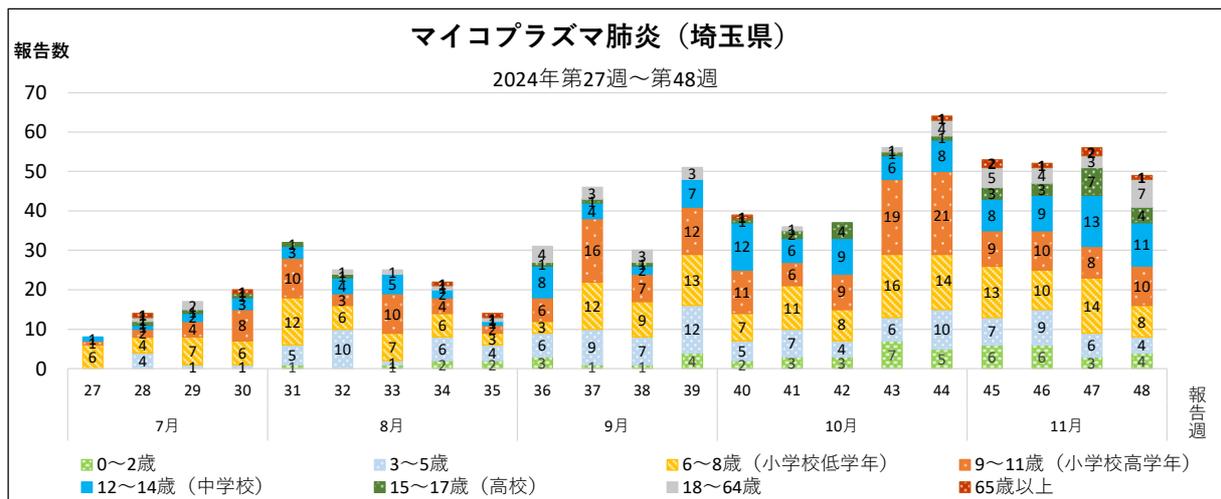


図 4 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第48週)

(2024年12月3日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	169			
四類感染症					
E型肝炎		35	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	8	127
つつが虫病	2	2	レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		23	侵襲性肺炎球菌感染症	6	89
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		16	水痘(入院例に限る)		5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	96	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	10	430
急性脳炎		23	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		107	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	31	百日咳	4	152
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	23	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第48週

11月25日~12月1日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数	1,434	646	39	81	465	674	78	660	569	46	19	5	6	17	-	-	49	-	-	12	25
	定点当たり	5.52	2.48	0.24	0.50	2.85	4.13	0.48	4.05	3.49	0.28	0.12	0.03	0.14	0.40	-	-	4.08	-	-	1.00	2.08
朝 霞	報告数	167	69	2	6	41	63	9	35	54	7	-	-	-	2	-	-	10	-	-	4	3
	定点当たり	7.26	3.00	0.13	0.40	2.73	4.20	0.60	2.33	3.60	0.47	-	-	-	0.50	-	-	10.00	-	-	4.00	3.00
鴻 巣	報告数	159	44	3	10	52	40	2	39	41	1	1	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.37	2.32	0.25	0.83	4.33	3.33	0.17	3.25	3.42	0.08	0.08	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	19	10	-	-	12	23	-	15	6	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	定点当たり	2.38	1.25	-	-	2.40	4.60	-	3.00	1.20	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	2.00
秩 父	報告数	3	23	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.60	4.60	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	20	8	1	-	-	-	5	21	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	2.86	1.14	0.25	-	-	-	1.25	5.25	0.75	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	33	39	-	1	19	35	5	36	11	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	2.54	3.00	-	0.13	2.38	4.38	0.63	4.50	1.38	0.13	0.25	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-	2.00
加 須	報告数	35	16	-	-	5	5	-	22	3	1	-	-	-	2	-	-	4	-	-	2	2
	定点当たり	3.50	1.60	-	-	0.83	0.83	-	3.67	0.50	0.17	-	-	-	2.00	-	-	4.00	-	-	2.00	2.00
春 日 部	報告数	66	38	3	9	33	21	-	56	19	4	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	6.60	3.80	0.50	1.50	5.50	3.50	-	9.33	3.17	0.67	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	110	46	6	8	18	11	2	49	19	-	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	7.86	3.29	0.67	0.89	2.00	1.22	0.22	5.44	2.11	-	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	33	42	-	9	8	20	3	8	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	定点当たり	3.30	4.20	-	1.50	1.33	3.33	0.50	1.33	1.83	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00
草 加	報告数	160	63	2	2	29	53	3	41	39	2	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.89	3.50	0.18	0.18	2.64	4.82	0.27	3.73	3.55	0.18	-	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	155	71	8	10	66	36	9	36	18	3	-	-	6	1	-	-	5	-	-	4	1
	定点当たり	6.20	2.84	0.50	0.63	4.13	2.25	0.56	2.25	1.13	0.19	-	-	1.20	0.20	-	-	5.00	-	-	4.00	1.00
南 部	報告数	36	6	2	14	40	36	3	32	60	1	9	-	-	-	-	-	7	-	-	1	1
	定点当たり	4.50	0.75	0.40	2.80	8.00	7.20	0.60	6.40	12.00	0.20	1.80	-	-	-	-	-	7.00	-	-	1.00	1.00
川 越 市	報告数	86	26	2	-	37	19	9	13	31	-	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	6.14	1.86	0.25	-	4.63	2.38	1.13	1.63	3.88	-	0.13	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	47	42	1	3	12	33	3	41	26	3	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
	定点当たり	3.62	3.23	0.13	0.38	1.50	4.13	0.38	5.13	3.25	0.38	-	-	-	-	-	-	10.00	-	-	-	-
川 口 市	報告数	155	48	1	3	28	136	6	84	59	4	3	1	-	2	-	-	2	-	-	1	2
	定点当たり	7.75	2.40	0.08	0.23	2.15	10.46	0.46	6.46	4.54	0.31	0.23	0.08	-	0.50	-	-	2.00	-	-	1.00	2.00
さいたま市	報告数	150	55	8	6	64	143	19	131	169	14	2	2	-	7	-	-	10	-	-	-	5
	定点当たり	3.49	1.28	0.29	0.21	2.29	5.11	0.68	4.68	6.04	0.50	0.07	0.07	-	0.78	-	-	10.00	-	-	-	5.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

12月 3日 13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第48週 11月25日～12月1日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	1,434	4	12	31	46	36	47	59	63	87	81	97	310	108	76	84	105	106	37	25	20
新型コロナウイルス感染症	646	1	9	12	3	4	4	2	2	3	4	5	39	39	77	69	73	92	74	71	63
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	39	7	9	9	6	3	2	-	-	-	-	-	3	-	-						
咽頭結膜熱	81	-	5	13	9	7	13	11	2	9	4	4	4	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	465	-	-	4	16	35	66	47	44	67	35	47	77	7	20						
感染性胃腸炎	674	9	37	64	60	73	59	67	44	45	47	31	97	6	35						
水痘	78	1	1	2	1	7	8	4	10	9	9	4	20	2	-						
手足口病	660	4	8	94	103	112	117	68	63	21	20	19	20	4	7						
伝染性紅斑	569	-	1	17	34	68	76	91	96	58	44	46	36	-	2						
突発性発しん	46	-	5	29	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	19	-	1	2	1	3	4	3	2	2	1	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	5	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	6	-	-	1	-	1	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	17	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	1	2	3	2	3	2	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	49	1	3	15	18	4	3	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	12	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4
新型コロナウイルス感染症(入院)	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	21				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第46週 (11月11日～11月17日)

令和6年12月4日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(5.02)、福岡県(3.49)、山形県(3.28)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は144例と前週と比較して増加した。都道府県別では36都道府県から報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～9歳(27例)、10代(18例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(3例)、50代(5例)、60代(10例)、70代(21例)、80歳以上(50例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(6.33)、岩手県(5.57)、北海道(4.75)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,175例と前週と比較して増加した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(14例)、1～9歳(21例)、10代(9例)、20代(14例)、30代(10例)、40代(24例)、50代(63例)、60代(120例)、70代(289例)、80歳以上(611例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は北海道(0.81)、大阪府(0.81)、鹿児島県(0.73)、福島県(0.53)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.83)、佐賀県(0.65)、鹿児島県(0.63)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は茨城県(5.57)、福岡県(4.07)、北海道(3.88)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(8.64)、熊本県(5.69)、徳島県(5.09)である。手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(9.39)、鹿児島県(8.94)、岩手県(8.18)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は東京都(1.93)、埼玉県(1.92)、神奈川県(1.44)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.61)、鹿児島県(0.47)、長崎県(0.30)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は佐賀県(0.13)、宮崎県(0.11)である。

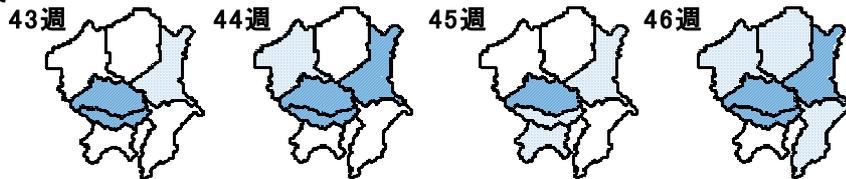
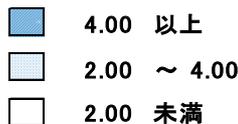
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(8.83)、青森県(5.00)、茨城県(4.92)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第46週(11月11日～11月17日): 通巻第26巻 第46号 より

<関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、茨城県(4.92)、埼玉県(4.33)、東京都(4.32)からの報告が多い。

マイコプラズマ肺炎



2024年 46週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 9,309 定点当たり 1.88	3,247 2.13	135 1.13	78 1.03	140 1.65	560 2.15	629 3.10	873 2.09	832 2.31
新型コロナウイルス感染症	報告数 9,406 定点当たり 1.90	2,728 1.79	249 2.08	151 1.99	260 3.06	541 2.08	449 2.21	537 1.28	541 1.50
RSウイルス感染症	報告数 805 定点当たり 0.26	171 0.18	12 0.16	15 0.31	21 0.40	26 0.16	9 0.07	59 0.22	29 0.13
咽頭結膜熱	報告数 842 定点当たり 0.27	191 0.20	24 0.32	6 0.13	16 0.30	67 0.41	15 0.12	30 0.11	33 0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 7,173 定点当たり 2.29	2,269 2.37	418 5.57	63 1.31	61 1.15	424 2.60	398 3.16	541 2.05	364 1.60
感染性胃腸炎	報告数 9,968 定点当たり 3.18	2,896 3.03	185 2.47	79 1.65	169 3.19	453 2.78	409 3.25	971 3.68	630 2.76
水痘	報告数 650 定点当たり 0.21	209 0.22	7 0.09	16 0.33	16 0.30	35 0.21	31 0.25	57 0.22	47 0.21
手足口病	報告数 13,079 定点当たり 4.17	4,658 4.87	290 3.87	281 5.85	279 5.26	949 5.82	874 6.94	1,113 4.22	872 3.82
伝染性紅斑	報告数 1,742 定点当たり 0.56	1,373 1.43	17 0.23	30 0.63	12 0.23	313 1.92	163 1.29	510 1.93	328 1.44
突発性発しん	報告数 704 定点当たり 0.22	209 0.22	12 0.16	15 0.31	16 0.30	45 0.28	20 0.16	62 0.23	39 0.17
ヘルパンギーナ	報告数 298 定点当たり 0.10	70 0.07	7 0.09	2 0.04	5 0.09	18 0.11	16 0.13	16 0.06	6 0.03
流行性耳下腺炎	報告数 96 定点当たり 0.03	36 0.04	1 0.01	1 0.02	3 0.06	6 0.04	3 0.02	9 0.03	13 0.06
急性出血性結膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	2 0.01	-	-	-	2 0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 345 定点当たり 0.49	123 0.59	23 1.35	6 0.50	9 0.64	25 0.60	18 0.51	8 0.21	34 0.68
細菌性髄膜炎 #2	報告数 16 定点当たり 0.03	1 0.01	-	-	-	-	1 0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 19 定点当たり 0.04	7 0.08	-	1 0.14	-	2 0.17	-	3 0.12	1 0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数 1,363 定点当たり 2.84	305 3.51	64 4.92	15 2.14	21 2.33	52 4.33	23 2.56	108 4.32	22 1.83
クラミジア肺炎 #3	報告数 2 定点当たり 0.00	1 0.01	-	1 0.14	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 2 定点当たり 0.00	1 0.01	-	-	-	1 0.08	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査
2024年

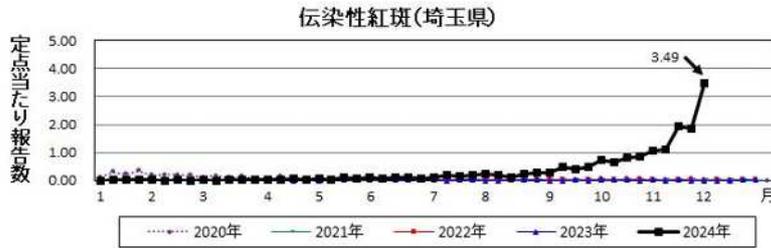
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第48週

2024年第48週（11月25日～12月1日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は、警報レベル開始基準値である2.00を上回り、感染症法が施行された1999年以降、最大の値となりました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★	手足口病	↓	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑(りんご病)	↑	★★★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘(みずぼうそう)	↑	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さいー★、★★、★★★★ー大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

